

## 第2号議案

# 令和6年度 事業計画・報告(案)

特定非営利活動法人 color

1. 児童発達支援センター 児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 居宅訪問型児童発達支援	児童発達支援センター くるーる
2. 多機能型事業所 児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 就労継続支援 B 型	みずたま
3. 相談支援事業 特定相談支援事業 障害児相談支援事業	相談支援センター さくら
4. 日中一時支援事業	そらのいろ そらのいろ・くるーる
5. 基本相談 高梁市障害者相談支援事業 巡回支援専門員整備に係る業務委託	たかはし障害者総合相談センター レイユール 相談支援センター さくら たかはし発達障害者支援センター
6. 放課後児童健全育成事業	まーぶる
7. 学習支援塾	さいさい
8. ひきこもり支援	ひきこもりサポートセンター いろは
9. その他法人事業  自発的活動支援事業	いろいろ

# 1. 児童発達支援センター くるーる

## (1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間	定員
①児童発達支援	月～土曜日	9:00-15:30	24人
②放課後等デイサービス	月～土曜日	9:00-15:30	24人
③居宅訪問型児童発達支援	月～土曜日	9:00-15:30	
④保育所等訪問支援	月～土曜日	8:00-17:30	

## (2) 各事業目標および結果

【計画・目標】	【結果】
① 児童発達支援	
利用目標人数(延べ) : 5,500人	利用人数:人 契約人数:人
・保護者に療育の見学の間を設け、子どもへの関わり方を伝えていく支援を活発に行う。 ・病院やリハビリ関係者とも連携し個別の関わり支援を提供できるようにする。(高梁市障害児機能訓練事業)	
② 放課後等デイサービス	
利用目標人数(延べ) : 430人	利用人数:人 契約人数:人
・就学後に不安なく通うことができているか保護者や学校へ確認したり、年齢に応じた活動を設定していき、社会のルールに触れていったりする。 ・必要に応じて他事業所への移行を行っていく。	
③ 居宅訪問型児童発達支援	
利用目標人数(延べ) : 2人	利用人数:人 契約人数:人
・利用できる体制を整えておく。 ・地域の対象となる子どもの情報を保健師等と情報共有をしていく。	
④ 保育所等訪問支援	
利用目標人数(延べ) : 70人	利用人数:人 契約人数:人
・保護者のニーズと園や学校でのニーズをすり合わせながら課題を設定し、目標を達成するために各機関情報を共有しながら行っていく。	

## (3) その他(研修・スクラム会議等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の研修に積極的に参加する。</li> <li>・スクラム会議や個別支援会議で関係機関と情報共有していく。</li> <li>・常勤、パートスタッフに関わらず同じような支援を提供できるように研修体制を整えていく。</li> </ul>	
--	--

## 2. みずたま

### (1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間	定員
①児童発達支援	月～土曜日	13:00～19:00	10名
②放課後等デイサービス	月～土曜日	13:00～19:00	10名
③保育所等訪問支援	月～土曜日	8:00～18:00	
④就労継続支援B型	月～土曜日	9:30～15:30	15名

### (2) 各事業目標

【計画・目標】	【結果・課題】
①児童発達支援	
利用目標人数(延べ)： 75人／年	利用人数：人 契約人数：人
・就学後を見据え、必要な支援の整理を行い就学に向けた目標を立てる ・就学についての情報提供を行い、具体的なイメージを持つことで本人・保護者不安を解消していく	
②放課後等デイサービス	
利用目標人数(延べ)： 3121人／年	利用人数：人 契約人数：人
・不登校児への支援を充実させる ・自立に向け、自己理解、必要な支援の整理ができるように取り組んでいく。 ・学校だけでなく家庭での相談ごとなどがゆっくり相談できる場を設ける	
③保育所等訪問支援	
利用目標人数(延べ)： 202人／年	利用人数：人 契約人数：人
・本人が困っているところや学校が困っているところを把握・整理し、その場毎に適した手立てや対応方法を関係者で共有し支援を行う	
⑤ 就労継続支援 B 型	
利用目標人数(延べ)： 1796人／年	利用人数：人 契約人数：人
・カレーや自社商品の販売の先の開拓 ・個々に応じた支援方法を提案し仕事の効率、生産性を上げる ・余暇活動の参加を一般的に募り、きなりの活動を地域へ周知していく	

### (3) その他(研修・スクラム会議 等)

・他事業所を見学し、視野を広げていく ・いろいろなスタッフがスクラム会議、研修に参加できるようにスキルアップに努める	
---	--

### 3. 相談支援センター さくら

#### (1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間
①特定相談支援事業	月～土曜日	9:00～17:00
②障害児相談支援事業	月～土曜日	9:00～17:00

※上記以外の時間については、携帯電話で対応する。

#### (2) 各事業目標

【計画・目標】	【結果・課題】
①特定相談支援事業	
契約目標人数： 40人(継続も含む)	契約人数： 人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人期への対応が十分にできるよう地域の社会資源等を知り、利用者の確保に努める</li> <li>・本人のニーズを十分に聞き取り福祉サービス以外の社会資源を情報も提供できるようにしていく</li> <li>・医療やサービス事業所等と情報共有を行い、関係機関との連携、情報共有を密に行っていく。</li> </ul>	
②障害児相談支援事業	
契約目標人数： 220人(継続も含む)	契約人数： 人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数が減少していることから契約人数も減少傾向にある 選ばれる事業所となるように広報活動に努める</li> <li>・家族や本人が安心して日々の家庭、園、学校生活等行えるように、モニタリング月に関わらず日常的に相談できやすいように連絡をとっていく</li> <li>・就学前の説明会の補足を行うことで、少し先の見通しを家族、本人に持てるような支援を行う</li> </ul>	

#### (3) その他(研修・スクラム会議)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクラム会議を確実にを行い関係機関と顔の見える関係作っていく</li> <li>・自立支援協議会等に参加し、相談支援事業から見えてきた高梁市の課題を伝えていく</li> <li>・研修に積極的に参加し、新しい情報の収集をしていく</li> <li>・高梁市内の相談支援事業所との意見交換会を開催し、日々の相談業務の中での楽しさ大変さを共有する。また、計画(モニタリング)の書き方などを共有していく</li> </ul>	
---	--

#### 4. ぞらのいろ ぞらのいろ・くるーる

##### (1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間	定員
ぞらのいろ	月～土曜日	8:00～18:30	15名程度
ぞらのいろ・くるーる	月～土曜日	8:00～18:30	15名程度

##### (2) 各事業目標（契約者数 ぞらのいろ： 100人 ぞらのいろ・くるーる： 50人）

【計画・目標】	【結果・課題】
①放課後利用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に応じた興味や社会性をふまえた遊びの提供</li> <li>・下校時の状況などから、学校や生活での困りやしんどさが確認できたときは関係機関と共有していく</li> </ul>	
②土曜日、長期休暇等利用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や興味に応じて複数の活動を設定し、色々な人に利用してもらう</li> <li>・公共施設や公共交通機関などの利用で普段の生活につながられる経験をしてもらう</li> </ul>	
③送迎利用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や学校と確実に情報共有し、時間のミスないう送迎を行う。</li> <li>・ゆとりをもって送迎を組み、安全に送迎できるようにする</li> </ul>	

##### (3) その他（研修・スクラム会議）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自閉症や発達についての研修に参加し、特性について深めていく</li> <li>・不登校児の対応については、学校や療育機関と連携をとりながら行っていく</li> </ul>	
---	--

## 5. レイユール(たかはし発達障害者支援センター・相談支援センター さくら)

### (1) 営業日・時間

	営業日	営業時間
レイユール	月～金曜日	9:00～17:00

### (2) 各支援目標

【計画・目標】	【結果・課題】
① 保育・教育	18歳未満 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園、学校等へ定期的に訪問できる体制があることをチラシ等の配布を行い周知していく</li> <li>・園や学校等の支援のニーズを確認しながら、子どもへの特性に応じた関り方のアドバイスを行っていく</li> <li>・福祉サービスに繋がっていない子どもに対しても保護者や関係機関等への聞き取りを行い、必要に応じてスクラム会議を実施し必要な支援体制を整えていく</li> </ul>	
②就労・成人期	18歳以上 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例については積極的に他機関の介入をお願いし、連携をとりながら支援していく</li> <li>・他地域の相談支援の体制を知り、高梁市へ活かすことができるよう取り組んでいく</li> </ul>	
② その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度の高梁市の体制の変化(基幹相談支援センターへの変更)において、法人として果たせる役割を伝えていく</li> <li>・自立支援協議会(児童部会・就労部会・地域生活支援部会)への参加</li> </ul>	

### (3) その他(センター内会議・関係機関関係 等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談センターの役割を高梁市と再確認していく。(地域生活支援拠点事業)</li> <li>・虐待防止センターとの情報の共有の方法の検討</li> <li>・巡回相談について、チラシの配布だけでなく研修会等を通じて周知できるようにしていく</li> </ul>	
--	--

## 6. まーぶる

### (1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間	定員
まーぶる	月～土曜日	8:00～18:30	8名程度

### (2) 各事業目標 契約人数：5名（夏季休暇中のみ 8名）

【計画・目標】	【結果・課題】
利用者希望者がいないため休止	

### (3) その他（研修・関係機関連携 等）

--	--

## 7. 学習支援塾 さいさい

【計画・目標】	【結果・課題】
登録人数 10人／日（延べ 400人／年）	
・主として宿題のサポートを中心に実施する 学習に対する苦手感が軽減できるように、療育と連携しながら学習のサポートを行う ・長期休暇中、宿題を中心とした勉強会等の開催を検討していく	

## 8. ひきこもりサポートセンター いろは

【計画・目標】	【結果・課題】
相談人数 20人／日（延べ240人／年）	
・高梁市の今後の方向性を確認しつつ、いろはでできる役割を伝えていく ・個別ケースについては、今後希望する生活を確認しながら、ご本人のペースで社会参加につながるよう支援を継続する ・高梁市内のひきこもりケースの実態を行政とともに把握いく	

## 9.その他 法人事業

### (1)各事業目標

【計画・目標】	【結果・課題】
①親子ラリー	
利用目標人数 150人	実績 人
開催時期を 6 月初旬から時候的にも参加しやすい時期 10 月中旬へ変更する 市内企業にも参画してもらい、より多くの集客へつなげる	
②夏祭り	
利用目標人数 350人	実績 人
地域団体、学生ボランティア等の参加を積極的に呼びかけ、地域交流だけでなく、color の活動の啓発につなげていく	
③Winter Festival	
利用目標人数 280人	実績 人
地域の幅広い年齢層方に参加してもらえるような活動を目指す 活動内容を工夫し今まで参加のなかった方にも興味を持ってもらえるような企画を検討する	
⑥ 一時預かり事業	
利用目標人数(延べ) 150人	実績 人 契約人数 人
利用希望に確実に対応できるように、保育スタッフの確保を行う 市と協議し家庭の事業に応じて、柔軟に利用できるように体制を整えていく	
⑦ スタッフ研修(内部)(1~2回/月) ・専門職研修 ・個別支援に関する研修 ・コミュニケーション研修	
⑧外部研修・講習会 ・児童発達支援センター拠点事業の研修 ・自閉症研修(1回/2カ月) 川崎医療福祉大学 重松孝治先生へ依頼 ・外部講師研修	



(2) その他

【計画・目標】	【結果・課題】
<p>自発的活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ペアトレ及びステップアップ講座</li><li>・視察研修(就労先・就労移行支援等)</li><li>・啓発事業(自立支援協議会とも連携)</li></ul>	
<p>親の会支援(ぶどうの会)</p> <p>月に1回程度保護者が集まれる場を設定し、日常の困りごと、子どものことなどを話せるようにする。家族が主体的に活動できるように支援する。</p> <p>保護者主体の研修会を開催する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・防災時の対応に関する研修</li><li>・偏食対応に関する研修</li></ul>	